



報道関係各位

2020年12月10日
「夢・化学-21」委員会
公益社団法人日本化学会

「化学グランプリ 2020」各賞受賞者が決定！

「夢・化学-21」委員会*と日本化学会は、11月22日（日）にリモート形式で実施した「化学グランプリ 2020」（通称：化学の甲子園、<http://gp.csj.jp>）の二次選考を実施し、大賞および各賞の受賞者を選出いたしました。みごと大賞を受賞したのは以下の5名です。

榊原 和真（サカキバラ カズマ）	岐阜県立岐阜高等学校（岐阜県）	3年生
寺田 英俊（テラダ ヒデトシ）	山梨県立甲府南高等学校（山梨県）	3年生
藤川 直人（フジカワ ナオト）	灘高等学校（兵庫県）	3年生
鈴木 虎大朗（スズキ コタロウ）	星陵高等学校（静岡県）	3年生
安部 哲（アンベ サトシ）	岐阜県立大垣北高等学校（岐阜県）	3年生

二次選考には117名が参加し、大賞5名のほか、15名が金賞、22名が銀賞、38名が銅賞に選ばれました。各賞の受賞とはならなかった37名は奨励対象者となりました。また、特別賞として、総合成績1位の榊原 和真さんに日本化学会賞、高等学校2年生1位の佐藤 輝季さんに TDK 特別賞、高等学校1年生以下で1位の一瀬 陽日さんに「夢・化学-21」委員会賞がそれぞれ贈られました。

大賞以下、各賞の受賞者につきましては、添付の参考資料をご覧ください。

化学グランプリは、全国の中高生に化学への興味・関心を喚起し、意欲・能力を高め、世界にも通用する若い化学者を育成することを目的に、1999年より開催しています。22回目の本年は、COVID-19の感染拡大を受けまして開催時期の延期や実施方法の変更を行い、一次選考を10月25日（日）にオンライン試験、また、二次選考も11月22日（日）にリモートでの筆記試験を実施しました。

◆国際化学オリンピックへの生徒派遣について

世界約80ヶ国・地域の高校生が化学の実力を競い合う『国際化学オリンピック』の日本代表生徒は、化学グランプリで優秀な成績を収めた生徒を中心に選出されます。来年7月の『国際化学オリンピック』は第53回大会が日本・大阪での開催が予定されています。今年も国際大会に向けて、本グランプリに参加した中学3年生・高校1・2年生の生徒から20名程度を代表候補生徒として認定し、代表候補生徒全体の中から、選抜試験を経て代表生徒を決定する予定です。

※公益社団法人日本化学会、公益社団法人化学工学会、公益社団法人新化学技術推進協会、一般社団法人日本化学工業協会の4団体で構成

お問い合わせ先

公益社団法人日本化学会	： 大倉、竹内	TEL 03-3292-6164	FAX 03-3292-6318
一般社団法人日本化学工業協会	： 中野	TEL 03-3297-2555	FAX 03-3297-2615

各賞受賞者

賞	氏名	フリガナ	学校所在地	学校名	学年
大賞 5名	榊原 和眞	サカキバラ カズマ	岐阜県	岐阜県立岐阜高等学校	3年
	寺田 英俊	テラダ ヒデトシ	山梨県	山梨県立甲府南高等学校	3年
	藤川 直人	フジカワ ナオト	兵庫県	灘高等学校	3年
	鈴木 虎大朗	スズキ コタロウ	静岡県	星陵高等学校	3年
	安部 哲	アンベ サトシ	岐阜県	岐阜県立大垣北高等学校	3年
金賞 15名	阿部 桃大	アベ トウタ	兵庫県	灘高等学校	3年
	市川 裕大	イチカワ ユウダイ	東京都	武蔵高等学校	3年
	一瀬 陽日	イッセ ハルヒ	東京都	東京都立小石川中等教育学校	4年
	大野 歩実	オオノ アユミ	東京都	筑波大学附属高等学校	3年
	大野 浩輝	オオノ コウキ	東京都	筑波大学附属駒場高等学校	3年
	窪田 智之	クボタ トモユキ	宮城県	仙台市立仙台青陵中等教育学校	5年
	小池 佑弥	コイケ ユウヤ	愛知県	名古屋市立向陽高等学校	2年
	後藤 優奈	ゴトウ ユウナ	兵庫県	白陵高等学校	3年
	佐藤 輝季	サトウ コウキ	東京都	武蔵高等学校	2年
	島倉 和樹	シマクラ カズキ	北海道	北海道旭川東高等学校	2年
	玉城 康仁	タマキ ヤスヒト	沖縄県	昭和薬科大学附属高等学校	3年
	長陽 茜音	チョウヨウ アカネ	大阪府	大阪府立天王寺高等学校	3年
	二橋 亮輔	ニハシ リョウスケ	静岡県	静岡県立浜松北高等学校	2年
	松田 活	マツダ カツ	北海道	函館ラ・サール高等学校	3年
	森田 航輔	モリタ コウスケ	兵庫県	灘高等学校	3年
銀賞 22名	安陪 玲音	アベ レオン	神奈川県	慶應義塾湘南藤沢高等部	3生
	飯田 奈那	イイダ ナナ	東京都	白百合学園高等学校	2年
	石川 竜聖	イシカワ リュウセイ	愛知県	東海高等学校	3年
	石川 亮太	イシカワ リョウタ	千葉県	千葉県立東葛飾高等学校	1年
	伊藤 陽莉	イトウ ヒヨリ	兵庫県	白陵高等学校	2年
	糸口 太翔	イトグチ タイト	石川県	金沢大学附属高等学校	3年
	江守 真由子	エモリ マユコ	石川県	石川県立小松高等学校	3年
	尾崎 大翔	オザキ タイショウ	兵庫県	灘高等学校	3年
	川本 青汰	カワモト セイタ	京都府	京都府立洛北高等学校	3年
	菊地 裕斗	キクチ ヒロト	福島県	福島県立福島高等学校	3年
	木村 啓亮	キムラ ケイスケ	大阪府	大阪星光学院高等学校	3年
	京 具輝	キョウ トモキ	兵庫県	灘高等学校	2年
	楠元 康生	クスモト コウキ	福岡県	久留米大学附設高等学校	2年
	畔柳 貴司	クロヤナギ タカシ	神奈川県	栄光学園高等学校	1年
	柴山 慧一朗	シバヤマ ケイチロウ	兵庫県	灘中学校	3年
	島 堯杜	シマ アキト	福岡県	福岡大学附属大濠高等学校	3年
	鈴木 響	スズキ キョウ	東京都	武蔵高等学校	3年
	辻 優人	ツジ ユウト	京都府	京都市立西京高等学校	3年
	西浦 洗平	ニシウラ コウヘイ	京都府	京都府立園部高等学校	3年
	間山 輝紀	マヤマ テルキ	埼玉県	栄東高等学校	3年
	宮本 航成	ミヤモト コウセイ	静岡県	静岡県立清水東高等学校	3年
	横倉 淳也	ヨコクラ ジュンヤ	栃木県	栃木県立真岡高等学校	3年

賞	氏名	フリガナ	学校所在地	学校名	学年
銅賞 38名	相原 一樹	アイバラ カズキ	神奈川県	栄光学園高等学校	1年
	安里 樹	アサト タツキ	沖縄県	昭和薬科大学附属高等学校	3年
	井上 智理	イノウエ トモタカ	鳥取県	鳥取県立鳥取西高等学校	3年
	今井 爽人	イマイ アキト	神奈川県	栄光学園高等学校	2年
	井本 和樹	イモト カズキ	兵庫県	灘高等学校	3年
	岩崎 丈至	イワサキ ジョウジ	埼玉県	埼玉県立坂戸高等学校	3年
	宇陀 任人	ウダ ニント	京都府	洛南高等学校	3年
	大木 琥太郎	オオキ コタロウ	東京都	武蔵中学校	3年
	大谷 侑也	オオタニ ユウヤ	岡山県	岡山県立岡山操山高等学校	3年
	小野 知樹	オノ トモキ	静岡県	静岡県立沼津東高等学校	3年
	鎌谷 一生	カマタニ イッセイ	兵庫県	白陵高等学校	3年
	北川 陽斗	キタガワ ハルト	愛知県	滝高等学校	3年
	杵築 研三	キヅキ ケンゾウ	神奈川県	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	3年
	駒形 圭吾	コマガタ ケイゴ	石川県	石川県立金沢泉丘高等学校	3年
	齋藤 丞	サイトウ ハジメ	大阪府	大阪府立茨木高等学校	3年
	笹倉 史都	ササクラ フミト	兵庫県	白陵高等学校	3年
	嶋村 悠	シマムラ ヒサシ	京都府	京都府立洛北高等学校	3年
	白井 翔太郎	シライ ショウタロウ	兵庫県	灘高等学校	3年
	新垣 友祥	シンガキ トモヨシ	沖縄県	昭和薬科大学附属高等学校	3年
	関 大哉	セキ ダイヤ	高知県	高知学芸高等学校	3年
	高橋 雅史	タカハシ マサシ	岡山県	岡山県立岡山朝日高等学校	1年
	武重 翔竜	タケシゲ カケル	東京都	千代田区立九段中等教育学校	5年
	竹田 真翔	タケダ マナト	北海道	市立札幌開成中等教育学校	5年
	竹本 隆弘	タケモト タカヒロ	京都府	洛南高等学校	2年
	中山 耕平	ナカヤマ コウヘイ	東京都	武蔵高等学校	3年
	西川 茉悠子	ニシカワ マユコ	東京都	豊島岡女子学園高等学校	3年
	西島 健矢	ニシジマ ケンヤ	大阪府	大阪星光学院高等学校	3年
	西村 春人	ニシムラ ハルト	滋賀県	滋賀県立膳所高等学校	1年
	萩尾 元	ハギオ ハジメ	兵庫県	灘高等学校	3年
	浜田 悠輝	ハマダ ユウキ	東京都	武蔵高等学校	3年
	古庄 棟振	フルショウ ムネノリ	福岡県	久留米大学附設高等学校	2年
	星野 敬太	ホシノ ケイタ	神奈川県	栄光学園高等学校	3年
	眞榮田 亮	マエダ リョウ	沖縄県	昭和薬科大学附属高等学校	3年
	松田 康生	マツダ コウセイ	東京都	麻布高等学校	2年
	宮城 渉	ミヤギ ワタル	沖縄県	昭和薬科大学附属高等学校	3年
	村山 皓平	ムラヤマ コウヘイ	大阪府	大阪星光学院高等学校	3年
	森芳 健司	モリヨシ ケンジ	兵庫県	白陵高等学校	3年
	山本 怜次郎	ヤマモト レイジロウ	東京都	海城高等学校	2年

※中等教育学校の4年・5年・6年は、それぞれ高等学校1年・2年・3年に相当

◆国際化学オリンピック IChO(=International Chemistry Olympiad)

1968年に東欧3ヵ国(ハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランド)が始めた高校生の学力コンテストから発展した、1年に1度開催される高校生の「化学」の国際大会。今年はCOVID-19感染拡大のため、リモート形式の筆記試験が行われました。

大会は通常、毎年7月に10日間開かれ、それぞれ5時間に及ぶ実験課題と筆記問題が出題され個人単位で競われます。成績優秀者には金メダル(参加者の1割)、銀メダル(同2割)、銅メダル(同3割)がそれぞれ贈られます。

日本は2003年のアテネ大会より参加しており、2004年のドイツ・キール大会から15年連続で参加生徒全員がメダルを獲得しています。

2010年には、国際化学オリンピックを(日本東京)で初めて開催しました。さらに、2021年に日本で国際化学オリンピックが再び開催する予定です。

◆「夢・化学-21」委員会について

「夢・化学-21」委員会*は、化学の啓発と化学産業の社会への貢献の理解促進を目的に1993年に発足しました。同委員会では、日本の将来を担う小中高生を主な対象とした活動を展開。化学グランプリのほか、化学の面白さや不思議さを通じて、化学技術の重要性や化学製品の有用性を知ってもらうため「子ども化学実験ショー」や、「なぜなに?かがく実験教室」などの実験体験活動などを行っています。

※公益社団法人日本化学会、公益社団法人化学工学会、公益社団法人新化学技術推進協会、一般社団法人日本化学工業協会の4団体で構成

ウェブサイト URL : <http://www.kagaku21.net>